



# 「JASAビジョン2030」 と「JASA3か年計画」について

DX、with COVID-19による業界の変化に対応して、既存事業の修復と再構築を進め、新たな収益事業を具現化していく始まりの年としたいと考えて、必要な御柱としてSDGsにならい『JASAビジョン2030』を策定しました。

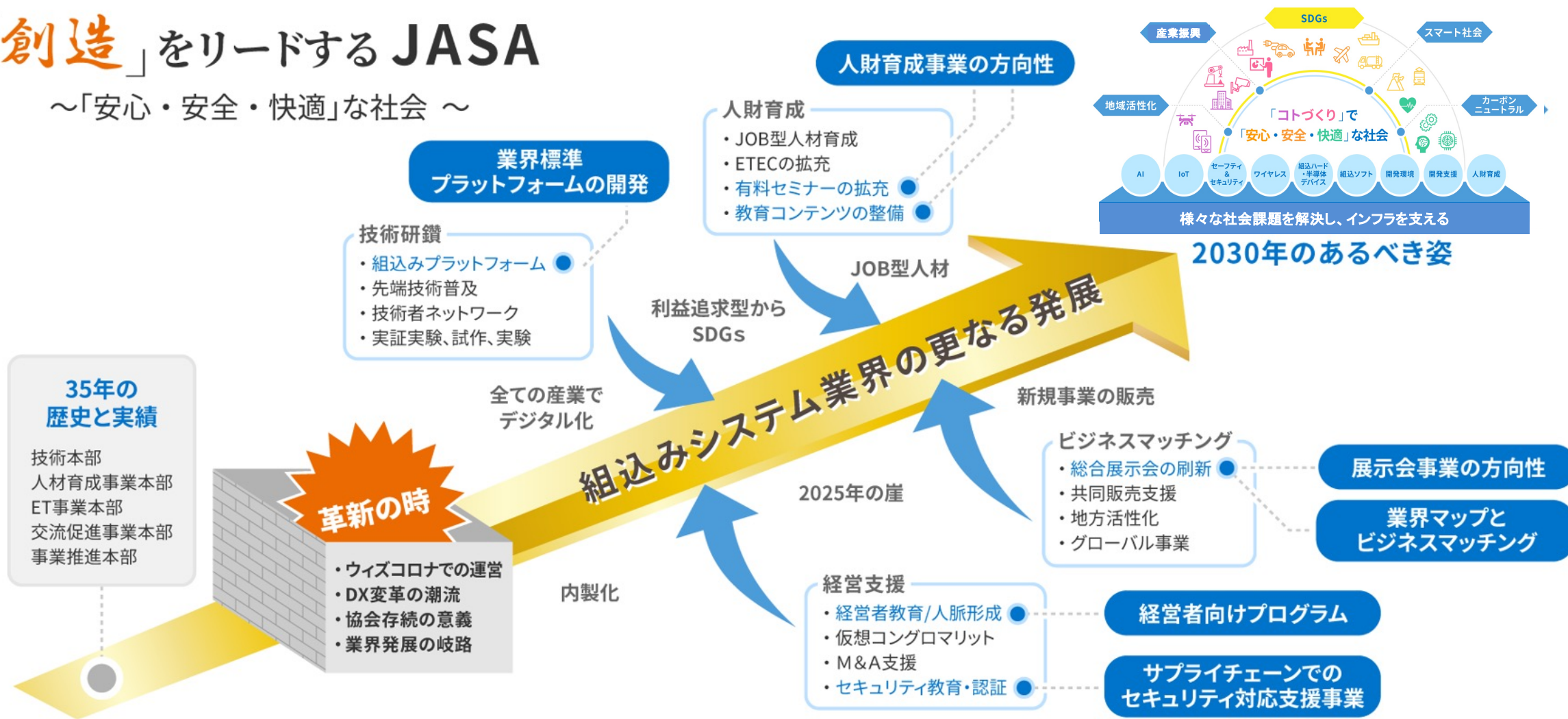
今年の重点活動項目は、『JASAビジョン2030』に向けた1stステージの3か年計画の初年度として、6つの施策を進めて参ります。

一般社団法人組込みシステム技術協会



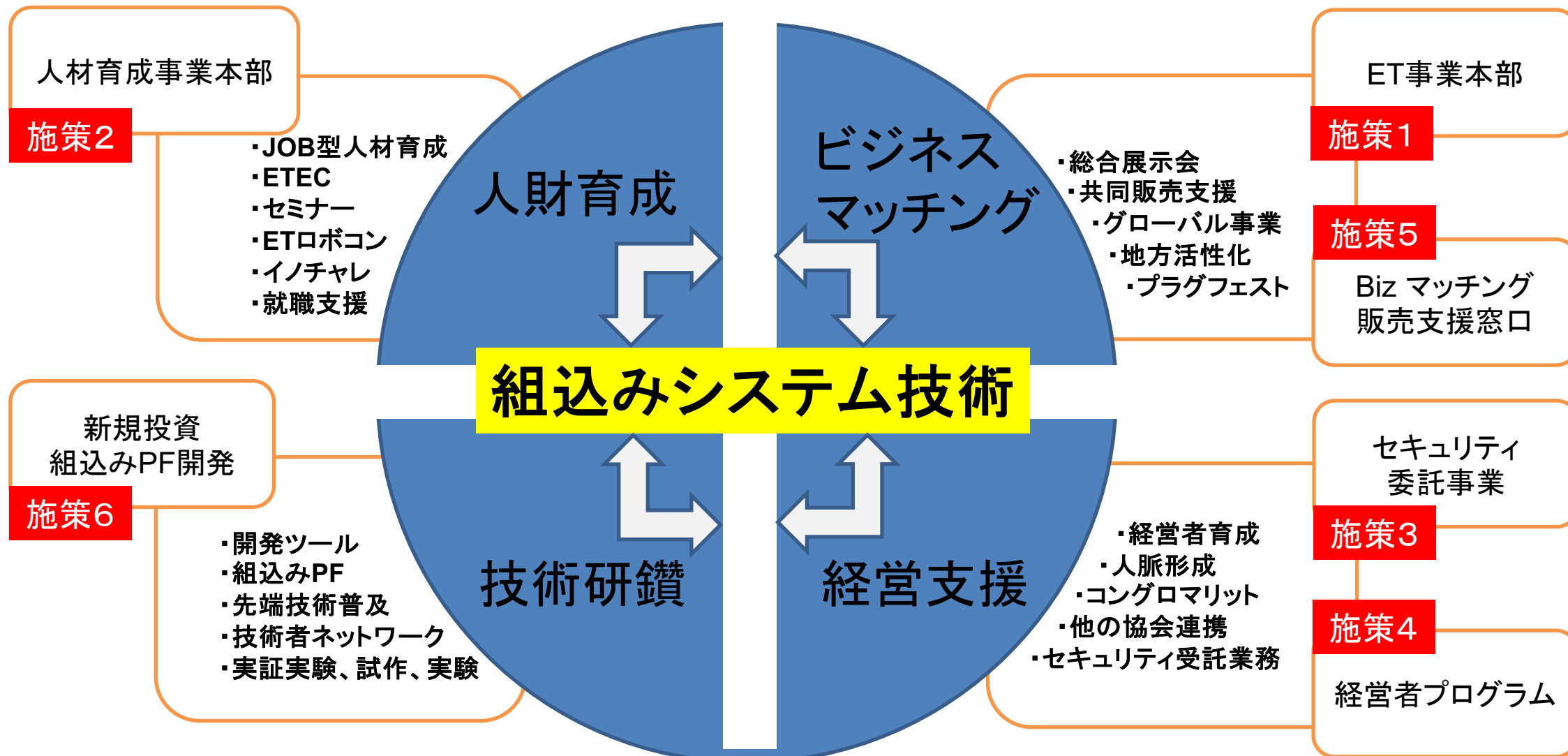
## 「創造」をリードする JASA

～「安心・安全・快適」な社会～





# JASAビジョンと3か年計画を実現する為の骨子







# 今年2022年はどうなるのでしょうか？

年回りで言うと今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」です。解釈に諸説ありますが、「壬」は「陽気を孕み（はらみ）厳冬を耐える状態」という意味があり、「寅」は「春の胎動」という意味があるようで、別の暦の解釈を交えれば「陽気を孕み厳冬を耐え、春の胎動で本質的な実力を養いながら、何事にも好奇心を持ってポジティブに進めば、華々しい成果が期待できる希望にあふれる年」となるそうです。

JASAもこの事例にならいCOVID-19との戦後処理として、既存事業の修復と再構築を進め、新たな収益事業を具現化していく始まりの年としたいと考えて、必要な御柱としてSDGsにならい『JASAビジョン2030』を策定しました。

今年の重点活動項目は、『JASAビジョン2030』に向けた1stステージの3ヵ年計画の初年度として、以下の6施策を進めて参ります。

- ① 展示会事業を成長性のある収益事業に刷新
- ② 業界団体としての、あるべき人材育成事業の追求
- ③ サプライチェーンでのセキュリティ対応支援事業の創出
- ④ 経営者向けプログラムの充実と人脈形成機会の創出
- ⑤ 業界マップの制作とビジネスマッチングの場の創造
- ⑥ 業界標準プラットフォームの開発と成果物の共有化

# 施策1：JASA展示会の方向性実施計画書

## 1. 概要

JASAの基盤事業として、成長性のある収益事業として発展させる  
コロナ禍により、JASAの収益の柱である展示会事業がさまざまな課題に直面している。  
以前のような、JASAの強固な収益事業とすべく、新たな展示会としての姿を目指す。

## 2. 重点実施項目と実施状況

- ①応用分野の取込み
  - ➡リテールAI、画像認識AIエキスポ、Open Networking & Edge Days Fall、横浜未来機構、CIAJ、リーン・アジャイルトラック、情報初期学会など協力依頼推進中
- ②若手来場者の取込み(新たな経済・社会活動を担う若手エンジニアを呼び込む)
  - ➡ MakerFaireとのコラボで若返りを図る
- ③業界団体ならではのコンテンツ提供(コミュニティのHUB、産業界や社会課題への提案)
  - ➡カンファレンスの充実
- ④魅力あるオンライン展示会の実現(with コロナを見据えた、オンライン展示とリアル展示との融合化)
  - ➡リアル展示への参加企業がこのら以前に戻りつつある。オンラインは聞き逃し対策へ
- ⑤営業力と出展社支援の強化(営業施策の強化で、出展社数の大幅増を実現)
  - ➡JASAパビリオン、地方パビリオンなどの推進で参加しやすくする

## 3. 想定体制

JASA:ET事業本部、JASA事務局、NOM

# 施策2：JASA人財育成事業の方向性 実施計画書

## 1. 概要

- JASA運営主体としての、あるべき人材育成事業とは（必然性、必要性）
- 2030に向けて会員企業から求められる人材育成とは  
組込みスキル標準（ETSS）と連携（IPAとも）し、新しい標準による業界基準を目指す。  
技術者育成だけでなく、管理者・間接部門の育成、経営者・次世代経営者の育成の支援を行う。  
そして、協会の収益部門として、ひとつの柱となるべき事業を目標とする。

## 2. 重点実施項目と実施状況

- ETロボコン20年で蓄積した教育コンテンツをベースに「ET&IoTコース」を開発・事業化
- ETECコンテンツの強化（オンライン化の調査・検討ならびに海外人材向けの英語化の調査・検討）  
➡R2,R3,R4スリランカ組込みエンジニア教育補助金を活用で充実
- 教育コンテンツ整備と研修実施（有料実施ならびに会員外も含めて）  
➡人材開発×3, 人材育成×5 計画中

## 3. 想定体制

- ET技術者教育委員会
  - ETEC事業推進委員会
  - 教育研修コンテンツ事業推進委員会
- ※JASAイノベーションチャレンジ実行委員会とも連携して進める。



## 1. 概要

製造業のサプライチェーン全体でのサイバーセキュリティリスクが高まる中、機器開発におけるセキュリティ対策が必須となりつつあり、組込みシステム業界で意識改革と技術対応が急務である。

JASAでは、課題においてエンジニアのセキュリティ教育による技術力の底上げを行い、また今後求められる国際安全規格への対応における脆弱性診断、認証取得支援などの委託事業の可能性について取り組む

## 2. 重点実施項目と実施状況

**重点実施項目1:** IPAから譲渡いただいたIoTセキュリティ教材をベースにした有償技術講座の開講および、ETSS/ETECでのセキュリティ試験制度の創出と認定エンジニアの育成

**重点実施項目2:** 産業向けを想定した今後のIoT・組込みシステム向けの国際安全規格、認証対応支援の事業化に向けた技術動向調査および、体制整備

→METI、IPAとの協力で有料セキュリティ教育、堅朗性製品調査、暗号形式調査など

## 3. 想定体制

サプライチェーンでのセキュリティ委託事業検討会議が推進

関連部署 JASA事務局、組込みシステムセキュリティ委員会、人材育成事業本部



# 施策4：経営者向けプログラム 実施計画書

## 1. 概要

JASA会員企業の経営者にとって必要とされる

①知識 ②人脈 ③協創 の場を提供する。

## 2. 重点実施項目と実施状況

「事業承継」をテーマに講演会、勉強会、懇親会を開催。

異業種との接触機会を増やすため、会員企業に留めずに内外へ参加を促す。

WGを新設し、月1回程度の事前準備、ヒヤリング、異業種勉強会などを実施して、経営者向けプログラム（トップリーダー倶楽部）を企画し、実施する。

→ET WEST会場にて、7月28日13時よりPMI、新事業立上げに関連する講演予定

## 3. 想定体制

初年度（2022年）はWGメンバーで企画立案実施。実運用は事務局が担当。

2年目以降は参加者のニーズを踏まえた企画を実施。

WGメンバーは有志と各支部から1名（経営者）の方の参加を依頼する

# 施策5：業界マップとビジネスマッチング実施計画書

## 1. 概要

目的：組込み業界のユーザー企業からニーズ、シーズを吸上げ、JASA会員企業の新規事業、新製品、事業再構築などにより生まれたビジネスチャンスの営業活動を支援し、ユーザー企業へシステム提案、事業の立上げ支援を実施する

目指すゴール：

- ①業界振興：経営支援、販売支援（売上増・利益増）、金融支援、事業継承支援、地方活性化
- ②展示会事業の強化：出展社増、会員支援・交流支援、セミナー強化
- ③協会の活性化：会員増、交流活性化と見える化、事業の多様化と収入増、人財育成・経営支援・技術研鑽のハブとして頼られる存在

## 2. 重点実施項目と実施状況

### ①広報委員会関連

→HPによるビジネスマッチングの場の提供、BJの見直し、メールの活用

### ②アライアンス交流会

→ET展示会において、オープンイノベーションサミット横浜 開催

### ③支部主導の地域他団体との連携強化

→地方支部と地方団体との連携を推進中（講師派遣等）

## 3. 想定体制

①広報委員会関連⇒広報委員会主導

②アライアンス交流会⇒ET事業本部にWGを新設

③支部と地域他団体との連携強化⇒ビジネス交流委員会主導

# 施策 6：組込みプラットフォーム 実施計画書

## 1. 概要

新組込みプラットフォームを使うことにより、会員企業が下記をできるようにする

- ・サービスを行いたい人(サービサー)に、エッジ・デバイスを提案する
  - メーカーとは仕事の進め方、マインドがまったく違う顧客への提案力を
- ・ハードウェア+ソフトウェア込みで提案
  - FPGA, LSI とソフトウェアを一緒に開発する

**新プラットフォームは、サービサーとの対話 ツールになる**

## 2. 重点実施項目と実施状況

JASA発 組込みプラットフォームの開発

- ・狭義プラットフォームの開発
  - 狭義プラットフォーム = ハードウェア+ソフトウェア+ツール+テスト環境
  - 狭義プラットフォーム = サービサーとの対話ツール
- ・会員のIP(知財)の流通/マッチングの場(ライブラリ・ストア(仮称))を開発
- ・新プラットフォームの勉強の場を作る

(実績: RISC-V WGが2020年度に、FPGA用RISC-Vの JASAプラットフォームを開発)

→技術本部に「組込みDevOps WG」を設立

## 3. 想定体制

プラットフォーム開発委員会にWGを新設